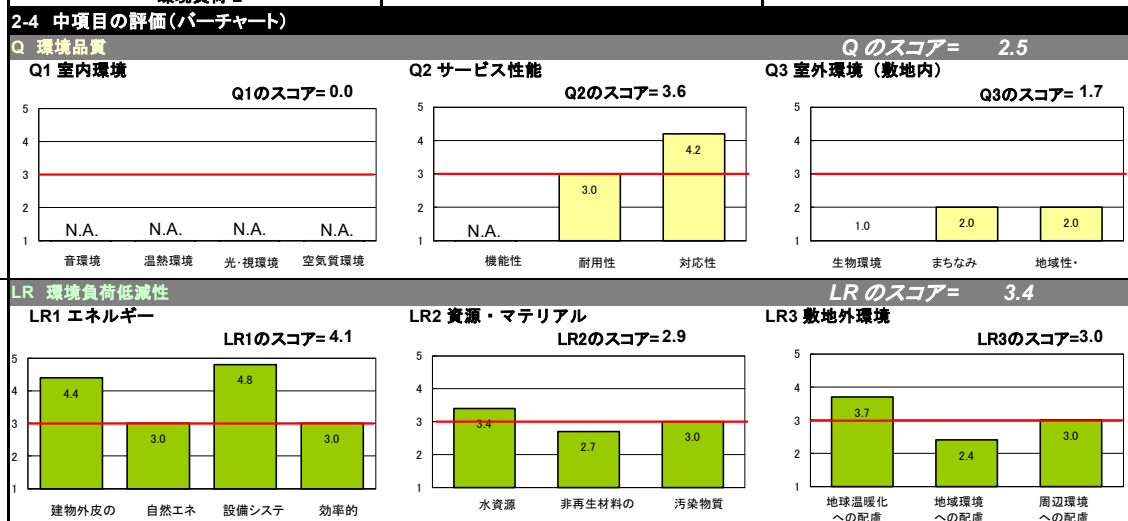
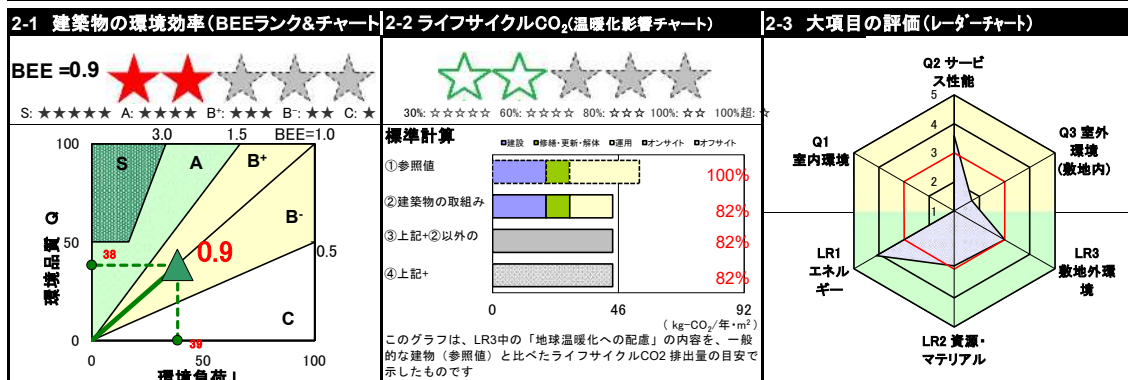


CASBEE あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要	1-2 外観
建物名称 有楽製菓株式会社 豊橋夢工場	階数 地下0階地上2階
建設地 豊橋市原町字蔵社88他14筆	構造 S造
用途地域 無指定、法22条区域	平均居住人員 160 人
気候区分 7地域	年間使用時間 7,000 時間/年
建物用途 工場	評価の段階 竣工段階評価
竣工時期 2025年8月 予定	評価の実施日 2025年8月8日
敷地面積 61,587 m ²	作成者 株式会社ワイ・エム・エー建築設計事務所 黒坂知美
建築面積 8,164 m ²	確認日 2025年8月8日
延床面積 15,006 m ²	確認者 株式会社ワイ・エム・エー建築設計事務所 黒坂知美



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	
3.7 	1.0 	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
		27.6 %
		建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
		0.0 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	
3.3 	1.0 	<外装材に使用した地域性のある材料>
		なし
		<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
		なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$ 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$ 

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
有楽製菓株式会社 豊橋夢工場

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体	
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.5	
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル				3.0	-	-	-	-		
1.2 遮音				-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	3.0	-		
1.3 吸音				-	-	-	3.0	-		
2 温熱環境				-	-	-	-	-	-	
2.1 室温制御				-	-	-	-	-	-	
1 室温				3.0	-	-	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	-	-	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	-	-	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	-	-	3.0	-		
3 光・視環境				-	-	-	-	-	-	
3.1 昼光利用				-	-	-	-	-	-	
1 昼光率				3.0	-	-	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	-	-	3.0	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-		
1 昼光制御				5.0	-	-	3.0	-		
3.3 照度				3.0	-	-	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	-	-	3.0	-		
4 空気質環境				-	-	-	-	-	-	
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質				3.0	-	-	3.0	-		
4.2 換気				-	-	-	-	-		
1 換気量				3.0	-	-	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	-	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	-	-	3.0	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.43	-	-	3.6	
1 機能性				-	-	-	-	-	-	
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画			独自	3.0	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-		
3 内装計画				3.0	-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				0.5	3.0	0.52	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			②	-	3.0	0.23	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	3.0	0.15	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23	-	-	-	
2.4 信頼性				0.1	3.4	0.19	-	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	5.0	0.20	-	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	
3 電気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20	-	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	
			②	熱源種のバックアップを行っている。電気図添付。						

3 対応性・更新性					0.4	4.2	0.48	-	-	-	4.2	
3.1 空間のゆとり			②	階高6m。断面図添付。 壁長さ比率計算。伏図添付。 荷重表添付。	0.3	5.0	0.31	-	-	-		
1	階高のゆとり	-			5.0	0.60		3.0	-			
2	空間の形状・自由さ	3.0			5.0	0.40		3.0	-			
3.2 荷重のゆとり					3.0	5.0	0.31		3.0	-		
3.3 設備の更新性					0.3	3.0	0.38	-	-	-		
1	空調配管の更新性				3.0	0.17		-	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0			3.0	0.17		-	-	-		
3	電気配線の更新性	3.0			3.0	0.11		-	-	-		
4	通信配線の更新性	3.0			3.0	0.11		-	-	-		
5	設備機器の更新性	3.0			3.0	0.22		-	-	-		
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22		-	-	-				
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.57	-	-	-	1.7	
1 生物環境の保全と創出				独自③		-	1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				独自④		-	2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				独自④		-	2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上					-	2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性							-		-	-	3.4	
LR1 エネルギー						-	0.40		-	-	4.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制					BPI _m =0.86	3.0	4.4	0.20		-	4.4	
2 自然エネルギー利用						3.0	3.0	0.10		-	3.0	
3 設備システムの高効率化					BEI=0.62	3.0	4.8	0.50		-	4.8	
4 効率的運用						0.2	3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価						1.0	3.0	1.00		-		
4.1 モニタリング						3.0	3.0	0.50		-		
4.2 運用管理体制						3.0	3.0	0.50		-		
集合住宅の評価						-	-	-		-		
4.1 モニタリング						-	3.0	-		-		
4.2 運用管理体制						-	3.0	-		-		
LR2 資源・マテリアル							-	0.30		-	-	2.9
1 水資源保護						0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水						3.0	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	3.0	0.67		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						0.6	2.7	0.63	-	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				② 独自		-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用						-	3.0	0.25		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					-	-	3.0	0.21		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					-	-	3.0	1.0	0.21		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	-	-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					3.0	4.0	0.25		-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						0.2	3.0	0.22		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						0.6	3.0	0.68		-	-	
1 消火剤						-	-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)						-	3.0	0.50		-	-	
3 冷媒						3.0	3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境							-	0.30		-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				①	ライフサイクルCO2排出率82%	-	3.7	0.33		-	-	3.7
2 地域環境への配慮						0.3	2.4	0.33	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止						-	3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						-	2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						0.2	2.7	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減				独自		-	3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制						-	3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制				独自	駐車場、駐輪場の十分な確保。	-	4.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						-	1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮						0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音				独自		-	3.0	1.00		-	-	
2 振動				独自		-	-	-		-	-	
3 悪臭						-	-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						0.4	3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制						-	3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制						-	3.0	-		-	-	
3 日照障害の抑制						-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制						0.2	3.0	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策						-	3.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						-	3.0	0.30		-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:27.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

環境設計の配慮事項

■建物名称 有楽製菓株式会社 豊橋夢工場

計画上の配慮事項	
総合	基本理念である、安全・品質・安定。生産ラインと建築・建築設備との融合。
Q1 室内環境	ほぼ全面的にF☆☆☆☆建材を採用した。
Q2 サービス性能	事務室の天井高3.0mとした。
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化指数28.2%とした。
LR1 エネルギー	BPI _m =0.86とした。
LR2 資源・マテリアル	省水型便器(擬音装置付)を採用した。
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車スペースを確保した。荷捌き用駐車スペースを確保した。 店舗用の駐車動線も分け駐車スペースも確保した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取り組みがあれば、ここに記載してください。